

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	スポーツマネジメント		
担当者(Instructors)	杉谷 正次	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
スポーツ経営学の基礎理論を理解するとともに、スポーツ組織や地域スポーツクラブの経営のあり方について検討することを目的とします。そこで本講義では、スポーツ事象を経営学の視点から捉え、その基礎理論を理解するとともに、スポーツ環境を取り巻く様々なスポーツビジネスを事例としてとりあげ、スポーツマネジメントの実践的なあり方について考えます。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	基本的に授業は、講義形式で行います。 但し、授業の内容に応じてグループワークを取り入れることもあります。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	スポーツ産業の発展と動向	スポーツ産業と他産業の違いを明らかにした上で、スポーツ産業におけるリスク・シェアとステークホルダーの重要性について解説する。	□
第2回	スポーツマネジメントの基礎理論	スポーツマネジメントとは何か、なぜスポーツにマネジメントが必要なのか、スポーツマネジメントの重要性について概説する。特にスポーツクラブをマネジメントする上での基礎理論（人と組織、ロジカルシンキング、マーケティング、経営戦略等）を学ぶ。	□
第3回	スポーツ消費者と消費行動	スポーツ用品の市場と流通活動の観点から、スポーツ消費者の消費行動を分析する。	□
第4回	スポーツマーケティングに関する考え方と構造	スポーツマーケティングを理解するため、スポーツという市場を構成する「商品」「売り手」「買い手」という3つの基本要素から考察する。	□
第5回	マーケティングプログラムの展開	CS（顧客満足）とは何か、CSの3つの段階をあげ、スポーツビジネスにおけるCSの重要性とホスピタリティについて解説する。	□
第6回	マーケティング倫理と法	スポーツマーケティング倫理とスポーツに関する法務について、具体的な事例をあげて解説する。	□
第7回	スポーツ組織の運営(1)プロスポーツの経営	プロスポーツビジネスとしての日本プロ野球（NPB）とアメリカメジャーリーグ（MLB）を取りあげ、組織・権限、経営戦略を比較しながら、それぞれの組織が抱える問題点と課題について考える。	□
第8回	スポーツ組織の運営(2)民間スポーツクラブの経営	フィットネス産業の歴史と現状について解説し、フィットネスクラブが展開している経営戦略について紹介する。またわが国におけるフィットネス産業の動向についても触れる。	□
第9回	スポーツ組織の運営(3)競技団体の経営	代表的なスポーツ競技団体をあげ、その競技団体の経営について紹介する。特にIOCやFIFAなどの競技団体の財務分析を中心に取り上げる。	□
第10回	スポーツ組織の運営(4)地域スポーツ経営と総合型地域スポーツクラブ	代表的なスポーツ競技団体をあげ、その競技団体の経営について紹介する。特にIOCやFIFAなどの競技団体の財務分析を中心に取り上げる。	□
第11回	スポーツ組織の運営(5)地域におけるスポーツ振興と行政の関わり	スポーツ振興方策と行政の関わりについて、全体の枠組みと根拠法令の概要を理解し、地域におけるスポーツ振興方策の現状と課題について考える。	□
第12回	スポーツ組織の運営(6)広域スポーツセンターの機能と役割	広域スポーツセンターとは何か、広域センターの必要性和役割について触れ、スポーツセンターにおける施設管理と運営のあり方について解説する。	□

第13回	スポーツ事業の計画・運営・評価(1)総合型地域スポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブのスポーツ事業の計画・運営・評価について解説する。	☐
第14回	スポーツ事業の計画・運営・評価(2)スポーツイベント	スポーツイベント事業の計画・運営・評価について、具体例をあげて解説する。	☐
第15回	まとめ	スポーツマネジメントの講義を総括する。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習（予習）として、次回講義テーマについてインターネット等で調べ学習をしておく（2時間程度）。 また事後学習（復習）として、授業の終わりに提示した課題レポートを次回の授業までに提出すること（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
毎回提出された課題レポートについては、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	スポーツ組織の運営や活動のしくみを説明することができるか。 スポーツ事業の計画・運営・評価について、他者に自分の考えを提案することができるか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回授業の終わりに提示した課題レポートをもって評価します。

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	杉谷正次・石川幸生編著『現代スポーツマネジメント』三恵社	978-4-86487-577-6
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	山下秋二・原田宗彦編著『図解 スポーツマネジメント』大修館書店	4-469-26571-3
2	広瀬一郎著『スポーツ・マネジメント入門 24のキーワードで理解する』東洋経済新報社	978-4492982075
3	ヨッフエン・ヴォルフ著 石川幸生・杉谷正次・本田陽監訳 山内章裕訳『ドイツにおけるスポーツクラブのマーケティング』三恵社	978-4-88361-507-0
4	『公認スポーツ指導者養成テキスト』日本スポーツ協会	
5	『公認アシスタントマネジャー養成テキスト』日本スポーツ協会	